

イスラエルを祝福された神様

みことば、祈り、賛美、いやし、神の力あるわざがあふれたイスラエル連合大聖会4周年記念聖会で、イスラエルにもう一度熱い聖霊の炎が燃え上がった。

[霊の愛シリーズ16] 神の愛

神様はまことの子どもを得ようとイエス様をなだめの供え物として渡してくださり、助け主聖霊様を賜物として下さって、天国まで導かれる。

打ち砕くべき肉の思い

御霊の歩みに入るために打ち砕くべき肉の思いには、どんなものがあるか調べてみる。

支教会1月スケジュール

「神の力を証しています」

WCDN(世界クリスチャン医師ネットワーク)に出会ったことが大きい祝福だというメキシコのクリスチャン医師フェンデス博士と主の恵みによって健康になったキム・ヒャン執事の証し。

万民ニュース

第134号 2013. 12. 22.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7042

www.manmin.org

「イ・ジェロク牧師招へいイスラエル連合大聖会」4周年記念聖会 霊の信仰を加え、TBNロシア放送で生中継



ユダヤ教の国で開催された「2009年イ・ジェロク牧師招へいイスラエル連合大聖会」以後、クリスタルフォーラムが主催する記念聖会が毎年開かれている。今年はイ・スジン牧師(1)を講師にハイファ国際コンベンションセンターで開かれ(3)、多くの人がいやされて証した(2,5)。ハン・ジュギョン賛美宣教師とパワーワシップチームの公演(4,6)と会衆賛美(7)で感動と恵みがあふれた。牧会者セミナーと教会での集会もあった(8,9)。

万民中央教会の堂会長イ・ジェロク牧師は2009年9月、福音の発祥地イスラエルのエルサレム国際コンベンションセンターで神の力あるわざを現し、「イエスだけが救い主であること」を宣言し、福音の回帰を実現した。これ以後、クリスタルフォーラム(イスラエル牧会者協議会www.acf.org.il)は毎年、万民中央教会の宣教チームを招いて記念聖会を開いている。

2007年7月から始まったイスラエル宣教は「2009年イ・ジェロク牧師招へい連合大聖会」で花を咲かせ、今年2013年には、記念聖会だけでなく牧会者セミナーが開かれて、聖潔の福音を慕うイスラエルに霊的変化を確実に起こしている。

2013年10月26日、ハイファ国際コンベンションセンターでイ・スジン牧師(万民中央教会教職者会長)を講師に4周年記念聖会が開かれた。イスラエル全域とパレスチナ、ロシア、ウクライナ、イギリス、ブルガリア、インドなどから参加、TBNロシア放送でヨーロッパ

とアジア全域に3時間、生中継された。

万民中央教会の芸能委員会のハン・ジュギョン賛美宣教師とパワーワシップチームのヘブライ語、ロシア語、英語による賛美と華麗な舞踊・ワシップは参加者に大きい感動を与えた。

多くの人が「すばらしい舞踊と聖霊に満たされた賛美に恵みを受けました」と力強く拍手で歓呼し、聖霊にあって一つになった。会衆賛美では参加者全員が一つになって、イスラエルを救われる神様を熱く賛美した。

イ・スジン牧師は「光の中を歩む時の祝福」という説教で「祝福される秘訣は闇から出て光の中を歩まなければならないこと」と語った。また、7年間病床にあったが、神様を見つけてただ一度でいやされたイ・ジェロク牧師の証しを紹介し、参加者は大いに感動して、闇の中で生きていた過ぎし日々を涙で悔い改め、光の中を歩もうと決断した。

説教後、イ・ジェロク牧師に祈りを受けて

神の力が込められたハンカチ(使徒19:11-12)でいやしの祈りをする、脊椎、膝、脚の痛みがなくなり、視力が回復し、聞こえなかった耳が聞こえるようになり、がんがいやされたと多くの人が証しをして、神様に大いに栄光を帰した。

ハイファいのちの水教会のユリ・カルミコフ牧師は「ロシアにいる弟は左心房急性マヒで昏睡状態でした。お医者さんたちもこれ以上見込みがないと言ひ、死を待っていました。ところが、信仰によって弟の代わりにイ・スジン先生に祈りを受けた後、驚くべきことに弟は意識を取り戻して、起きて歩いただけでなく、食べられるようになるなど、急速に良くなり始めました」と喜びながら証した。

TBNロシア放送で聖会に参加したロシア、エストニア、ドイツ、スイス、イギリス、カザフスタンなどからも、いやしと答えを体験した証しが続けて寄せられている。

10月24日と25日にはイスラエル近郊のメシアニック・ジュウが経営する宿泊施設ヤツ

ド・ハシェモナのセミナーホールで牧会者セミナーが開かれた。イ・スジン牧師は「信仰の量り」をテーマに「牧会者がまず自分の信仰の量りを悟って、罪を捨てて聖められてこそ、聖徒を正しく導けるだけでなく、教会もリバイバルして祝福されます」と伝えた。

参加者はメモをとりながら耳を傾け、続く賛美と祈りの時間に涙で悔い改めて、主の御前に正しく立とうと決断した。ロシアに800の教会を持つ教団総会長セルゲイ・ミハイエフ牧師は「私の信仰は子どものようだと悟りました。牧会者としての今までを顧みました」と告白した。

10月26日にはハイファ栄光の王教会で集会があった。イ・スジン牧師は十人の娘のたとえで、花婿を迎えるまことの花嫁の資格について説明し、聖徒たちは目を覚ましている信仰生活をしよう決心した。担任のダニエル・マチュアシ牧師は「メッセージが本当に深く、私たちを変えさせる力がありました」と述べ、今後のリバイバルを期待した。

神の愛



堂会長イ・ジェロク牧師

「私たちは、
私たちに對する神の愛を知り、
また信じています。神は愛です。
愛のうちにいる者は神のうちにあり、
神もその人のうちにおられます。」
(第一ヨハネ4:16)

天地万物に美しいものを見る時や、ある人から良い心が見える時、私たちは幸せを感じます。まして、すべての美と善と愛の初めであられる神様の心を私たちの中に作ったなら、その幸せはどれほど大きいでしょうか。

神様の愛は苦しみを溶かす安らかさであり、闇を追い払う明るさと希望であり、気を落とした人を立ち上がらせる力の源です。また、悲しみを退ける喜びであり、すべての涙をぬぐってくれる慰め、疲れてつらい時に心身を軽くしてくれる生命力の源です。

このように美しい愛が、まさに私たちに向けられた最も次元の高い神様の愛です。

1. 人間を耕作してまことの子どもになるよう導かれる愛

神様は最初の人アダムを造られた後、エデンの園に導き入れられました。そこは神秘的なほど美しい自然の中に、いろい

ろな花と木が生えていて、かわいい動物が遊び回り、どこへ行こうが豊かな実がなっていたのです。

そしてアダムのために、神様はエバという連れ合いも与えてくださいました。アダムが自分で孤独だと感じたのではなく、永い歲月、ひとりでおられた神様があらかじめ推し量って施された愛でした。

最初の人アダムはエバとともに最上の環境で数えきれない歲月、神様とともに歩み、万物の霊長として大きい権勢を持って生きていました。しかし、まことの子どもになるには、まだ欠けているものがありました。神様のほうでは思う存分愛してくださったのですが、いざその心はという感じられなかったのです。

神様が下さったすべてのものを持って味わっていましたが、自分が労苦して得たものではないので、ありがたみがわかりませんでした。また、不幸や死を感じたことがなかったため、その意味を知らず、憎しみを体験したことがないので、愛のまことの価値も知りませんでした。つまり、相対性を体験したことがなかったのです。

アダムとエバが蛇に惑わされて善悪の知識の木の実を取って食べたのも、このゆえです。神様は「それを取って食べるとき、あなたは必ず死ぬ。」(創世記2:17)と仰せられましたが、彼らは死が何か知りませんでした。それなら、神様は彼らが善悪の知識の木の実を食べるとは思われなかったのでしょうか？ そうではありません。神様はすべて知っておられましたが、アダムとエバには自分で選択できる自由意志があつて、ここには人間耕作という摂理が隠されていました。

人間耕作を受けて涙、悲しみ、苦しみ、死などを体験することで、やがて天国に行つて、自分が味わっているものがどれほど尊いのか悟るだけでなく、まことの幸せを味わうようにするためでした。それで、エデンの園とは比べられないほど美しい天国で、とこしえに愛を分かち合おうとされたのです。

結局、アダムとエバは自由意志で神様のおことばに聞き従わなかったため、エデンの園から追放されてしまいました。天下万物を支配していたアダムが権力を失うと、その下にあった動植物まで呪われました。豊かで美しかったこの地上にもいばらとあざみが生えて、顔に汗を流さないと食を得られないようになったのです。

神様はたとえ聞き従わなかったアダムとエバであっても、エデンの園と全く環境の違うこの地上で生きていかなければならぬ彼らのからだを守るために皮の衣を作り、彼らに着せてくださって、この地上に追い出されました(創世記3:21)。子どもの将来のためにしばらくそばから離す親の心だったでしょう。こんな神様の心とは違って、人間耕作が始まって以来、人類は急速に罪に染まり、神様から遠ざかっていきました(ローマ1:21-23)。

2. 世界の始まる前からイエス・キリストを備えておかれた神様

〈第一テモテ2:4〉に「神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。」とあるように、神様の愛は特定の時代、特定の人にだけ向けられているわけではありません。神様はすべての人が救われることを望んでおられます。救いの門を開いておいて、ひとりの魂がご自分のもとに帰ってくるたびに、まことに喜んで暖かく迎えてくださるのです。

このように最後まで私たちを見捨てられない神様の愛によって、すべての人が救われる道が開かれました。それがひとり子イエス・キリストです。「また、血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはないのです。」(へブル9:22)というみことばのように、イエス様の尊い血といのちで、罪人が払うべき罪の代価を代わりに払われたのです。

神様は人類のすべての罪を贖うために、イエス様の尊い血を注ぎ出すようにされました。イエス様は十字架につけられて死なれましたが、何の罪もなかったため死の力を打ち破って三日目によみがえられ、これで救いの道が開かれました。

たいていの親は子どもへの愛を表現するとき「目に入れても痛くない」と言います。自分の命より大切なのが子どもです。したがって、神様がひとり子イエス様を与えてくださったのは、愛の極致を見せてくださったということです。その上、主の尊い血によって取り戻した人たちのために美しい天国を備えておかれたのですから、どれほど驚くべき愛でしょうか。

3. 聖霊を賜物として下さって天国まで導かれる愛

神様の愛はこれで終わりません。イエス・キリストを受け入れて罪を赦された人には誰でも、聖霊を賜物として下さいます。聖

霊は神様の心です。神様は、十字架につけられて死なれたイエス様がよみがえって天に上られた後、私たちの心の中に助け主聖霊を遣わしてくださいました。

真理の御霊である聖霊は、私たちが罪を犯せば、言いようもない深いうめきによって、立ち返るように導かれます。信仰が少ない人に信仰を加え、望みのない人には天国の望みを加えてくださいます。お母さんが子どもを細やかに世話するように、転ぶのではないかと、けがをするのではないかと、時に応じて御声を聞かせてくださいます。私たちを愛する神様のお心を知らせて、天国まで導いてくださいます。

このような愛を深く悟ったなら、神様を愛さずにはいられません。私たちが神様を心から愛すれば、神様は返しきれないほど大きく驚くべき愛で返してくださいます。健康である祝福だけでなく、すべての点でも幸いを得て栄える祝福を下さいます。これは霊の世界の法則でもありますが、同時に、祝福されて答えられるを通して、私たちが神様の愛を感じることを願われるからです。

皆さんが初めて神様を見つけていろいろな問題が解決されたとき、自分のような罪人も赦して下さった愛に感謝して「神様の大きい恵みに何をもって報いようか」と思ったでしょう。心配、憂いがなく、病氣や苦しみ、死のない永遠の天国を下された神様の愛に胸が熱くなりました。私たちがまず神様を愛したのではなく、神様のほうがまず訪ねてこられ、御手を差し伸べてくださいました(第一ヨハネ4:19)。

私たちに愛されるに値する資格があるから愛して下さったわけではありません。罪人として死ぬしかなかった私たちのために、ひとり子まで渡して下さった愛です。神様はすべての人を愛しておられますが、女が自分の乳飲み子を一時も忘れないように、それ以上に私たちに顧みて、千年を一日のように待ちに待っておられるのです(イザヤ49:15)。

愛する聖徒の皆さん、

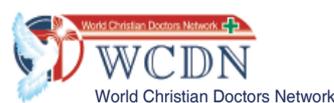
神様の愛は永い歲月が流れても変わらない、真実の愛です。やがて美しい天国で受ける栄光のうちにも過ごす日を指折り数えて待つておられる神様の愛を心の奥深く感じて、いつも感謝があふれる幸いな生き方になりますよう、主の御名によって祈ります。



Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcnetv.org
e-mail: webmaster@gcnetv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・ゲンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市クロク区クロク3ドン235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048

御霊の歩みに入るために打ち砕くべき 肉の思い

人が生きていながら長い年月固まった考えや行動方式は、変えるのが容易でない。これは自分の限界の中で真理を受け入れて理解するからである。しかも真理のみことばで間違った義と粹まで作った場合、神のみことばを悟るのが難しい。自分でも悟れないうちに肉の思いを働かすからだ。

「義」とは、自分が正しいと主張することを言い、「粹」とは、何々が正しいという考えがしっかり固まったものを言う。

このような義と粹の中から出てくる肉の思いを打ち砕かなければ、御霊の歩みに入れないし、その手前でとどまっているしかない。

だから、火のような祈りとともに、真理のみことばに照らして絶えず自分を発見する努力がなければならない。

それでは、御霊の歩みに入るために打ち砕かなければならない肉の思いには、どんなものがあるだろうか？

1 気質的な粹から出てくる肉の思い

親から受け継いだ気質が自分の気の中に深く隠されていて、そこから出てくる肉の思いのゆえに、自分の欠けているところを発見することもできないし、捨てることもできないのが見られる。

ある人は内省的な気質に生まれついたので、だいたい静かで、怒ったり争って平和を壊すことがなかなか見られない。しかし、グループのリーダーになったら、状況によっては大胆で決断力がなければならないのに、消極的に対処するから、周りの人を顧みて導く面が弱い。その一方で、周りの人と引っかかることもなく、いつも相手の良いところを見ていると思うので、自分の欠けているところが悟れない。

ある人は外向的な気質を持って生まれ、熱心である反面、仕えが欠けていて、相手が自分よりすぐれていると思って安らかにしてあげる面が弱い。一歩引かなければならない時も「御霊の歩みを慕わなければ、激しく攻めていかなければ」と思って引かないから、平和をつくれぬ。

2 性格の粹から出てくる肉の思い

成長しながら悲しみと恨みを持って世を暗くだけ見て生きてきた人は、環境によって否定的で暗い性格が形成され、ここから出てくる肉の思いのせいで、信仰生活もつまらそうにするのが見られる。

たとえば、罪を捨てるために、答えられるために、自分なりに熱心に祈って、忠実に仕えていながらも、自分があれほど願っていた祝福を、似た境遇や務めを持った他の人が先に受けると、焦ったり気を落としたりする。

ある人はすべてのことに自分で自分を罪に定めて責め、祈る気力さえなくして、神の御前に行くこともできない。このように神の愛を深く感じられないから、他の人に対する時も、理解して受け入れるよりは、自分の義と粹の中で相手の欠けているところを見るようになる。だから、相手をじれったく思って、指摘して教えようとする心が先に立つ。

3 微細な真理に逆らうものから出てくる肉の思い

心を真理でかなり耕したとしても、微細な真理に逆らうものまで完全に捨てなければ、肉の思いが出てきたりする。たとえば、助言や勧めを聞くとき、うなずきはするが、一瞬心が穏やかでなくなったりする。0.1パーセントでもこんな心があるなら、御霊の人とは言えない。ところが99.9パーセントが良い心なので、また肉の思いはほ

んのつかの間かすめたから覆ってしまうので、微細な真理に逆らうものが捨てられなくて、御霊の歩みの敷居を越えられないのだ。

4 聖霊に満たされている環境にいるので隠されている肉の思い

心の地を耕すことはおろそかにしながらも、自分はいつも御霊による思いをしていると錯覚している人がいる。聖霊に満たされている環境にいるので、一瞬一瞬浮かぶ肉の思いを覆ってしまうからだ。こんな人は、いざ何かの訓練がやって来れば、信仰で勝利することができない。心の奥深くまで割礼をして、どんな状況でも聖霊の満たしがなくならないようになってこそ、真心と全く信仰が持てるのである。

5 肉の欠如から始まる肉の思い

人が成長しながら経なければならぬ過程をまともに経られないことによって、普遍的に備えているべき力が欠けている状態を、ひっくるめて「肉の欠如」と言う。

たとえば、学校で授業時間に集中する訓練をしっかり受けていなければ、成長しても、他の人が話しているとき集中できない。それで、礼拝時間に説教を集中して聞けず、話をしている時も、相手の話に耳を傾けられない。目上の人の指示を耳をそば立てて聞けなかったり、心に留められなくてミスしたりする。神のみことばに逆らう心ではないが、みことばを心に糧とできないから、肉の思いを働かせるのだ。

ある人は成長期に孤立した環境で育って、コミュニケーション力や共感力が欠けている。他の人の考え方や表現方法がよく理解できなくて共感できず、すべてにおいて周りの人の心に合わせられない。自分の経験から「これがいい。あの人もそう思うだろう」と考えるが、それが合わないからだ。

6 真理の粹から始まる肉の思い

真理のみことばをもって自分なりに解釈して「これが正しい。良い」という考えをしっかり固めたので、何が間違っているのかよく悟れない。その粹から始まった思いが合う状況もたまにあるから、自分が正しいと自信を持つのだ。

たとえば、牧者が聖徒を赦して過ちを覆ってあげる姿に感動して「赦して理解することが善だ」という粹が作られたとしよう。すると、赦すだけではいけない状況でも、同じ態度を取るようになる。ある場合は罪から立ち返れるように叱責と懲らしめが必要なのに、善の粹から出た肉の思いのせいで、その魂への神の愛をさらに深く押し量れないのだ。

1月支教会スケジュール

1月 11日(土)	別府万民教会	権能いやし聖会(講師:加藤勲牧師)	1月 26日(日)	沖縄万民教会	クリスマス祝会(講師:山下好美牧師)
1月 25日(土)	舞鶴万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:金マルコ牧師)	1月 29日(水)	松本万民教会	権能いやし聖会(講師:伊藤正明牧師)
1月 25日(土)	名古屋万民教会	癒しの集会(講師:時國みや子牧師)	1月 29日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳スズキ牧師)
1月 26日(日)	東京万民教会	権能いやし聖会(講師:崔ビョンラン牧師)			

「クリスチャン医師たちが証しする 神の力、すばらしいです」

ダニエル・フェンテス・アコスタ
産婦人科専門医、WCDNメキシコ・ディレクター



1994年、私はメキシコ州立大学医学部に入学した後、時間があれば祈り会を持ち、医大生のための会議を開いて福音を伝えました。卒業後も、医師として全知全能の神様と主の福音を伝えるビジョンのためにいつも祈ってきました。現在、メキシコのトルカ市にあるモニカ・プレテリニ産婦人科病院の診療部長を勤めています。

2011年、数人の医師とともに、体のいやしだけでなく魂もいやせるクリスチャン医師の集まりが必要だと悟り、「アメク」(AMEC:メキシコ・クリスチャン医師会)を結成しました。現在、300余人の会員がいて、超教派でクリスチャン医師が主軸になってメキシコ全域に主の愛を伝え、医術を通して奉仕活動をしています。

アメクを結成した後、私たちのような心で福音を伝えている、似たような団体があるはずだと考えました。そんな団体を探して学ぼうと思いました。そんなある日、妻はインターネットを検索してWCDN(世界クリスチャン医師ネットワーク)のホームページ(www.wcdn.org)を見つけました。神の力によっていやされた事例を医学資料とともに証明する働きにとっても感動しました。こんな団体があるということが感激でした。

「すぐに連絡しよう。本部がどこかな？韓国？ああ、神様！あんまりにも遠いです。」

ところが感謝なことに、世界のあちこちに支部がありました。私はメキシコから一番近いアメリカ支部に連絡して、ディレクターのアルマンド博士とつながりました。博士を通して2012年には韓国WCDNの出張チームに会い、神様がともにおられるすばらしいWCDNの働きとビジョンについて聞くようになりました。私の胸は弾けるようで、感激で涙が流れました。あれほど熱く望んでいたクリスチャン医師としてのビジョンが現実になる瞬間だったからです。

妻と私はWCDNの設立者であり理事長であるイ・ジェ

ロク牧師がどんな方なのか、非常に知りたくなりました。万民中央教会のスペイン語ホームページ(www.manmin.org/foreign/main_sp.asp)で先生の説教を聞きました。その中には魂に響く愛と真実が込められていました。また、イ・ジェロク牧師の代表的な著書『十字架のことば』スペイン語版を読みましたが、人間耕作の摂理を悟って、神様の愛と十字架の愛を心の奥に刻みました。

神の力あるわざも体験できました。私の息子ダニエル(7歳)には、生まれた時から腕と脚にアトピー性皮膚炎がありました。昨年、メキシコを訪問した韓国のWCDN出張チームが、神の力の込められたムアの甘い水を信仰によってつけたり飲んだりすれば、いやしのみわざを体験できると言ってくれました。これを聞いて、息子にムアの甘い水をつけて祈ったところ、神様は驚くべきことにその週のうちにきれいにいやしてくださったのです。

この他にも、友人の成形外科専門医、ホセ・パストゥラナ博士はイ・ジェロク先生の時間と空間を超えた祈りで、昏睡状態にあった娘が生き返るみわざを体験しました。また、フェルナンド牧師は膝の関節の具合が良くなく、思うように歩けなかったのですが、エンラセ放送でイ・ジェロク牧師のいやしの祈りを受けた後、いやされました。

今年6月には、WCDN主催の第10回国際キリスト教医学学会がメキシコのトルカ市で開かれました。私は組織委員長を務め、ラテンアメリカで初めて、自分の国で学会が開かれたことに感激しました。この学会には24か国から350余人の医師が参加し、不治の病の患者が祈りで完治した7つの事例が医学資料とともに発表されました。いやしの医学的証拠と魂を生き返らせる特講、聖霊に満たされた賛美と公演などで神様に栄光を帰した学会でした。

私は今後、中南米の国々を訪問してWCDN支部を立ち上げようと思っています。神様が施されるいやしのみわざを重点に学会を開催し、医師に福音を伝えるためです。愛なる神様を見つげられるように、WCDNの働きをしておられるイ・ジェロク先生に感謝します。これを通して大いに栄光を受けられる三位一体の神様に、すべての感謝と栄光をお帰します。

「アレルギー性喉頭炎と鼻炎が 完全になくなりました」

キム・ヒョン執事(中国1教区)

私は今から4年前の2009年、お金を稼ぐために韓国に came。おぼの伝道で万民中央教会に登録はしましたが、働いていたので主日を完全に守れませんでした。

いつの頃からか原因不明の過敏性アレルギーが現れて、全身がかゆくて耐えられないほど苦しみました。服用している薬のせいで体重も増えて、低血圧にまでなっ

て、しょっちゅう倒れるくらいでした。

特に喉はいつもはれていて熱が出たし、上あごにはじんましんが出て、とてもかゆかったです。いつも鼻水が出て、くしゃみがひどかったのです。アレルギー性喉頭炎と鼻炎でした。いろいろと薬を買って飲んでみましたが、良くなりませんでした。

2011年の末、礼拝時間に堂会長イ・ジェロク先生の説教を聞いているうちに主の愛が悟れて、過ぎし日の過ちが思い浮んで、魂を砕いて罪を告白しました。その恵みに感謝して、時間が許すだけダニエル徹夜祈禱会に参加して祈りました。

少し経って、中国に住んでいた娘がスンミョン女子大の交換学生として来ました。娘と一緒に暮らすと心も安定してい

き、信仰生活もちゃんとできるようになりました。主日を完全に守って、信仰によって飲んでいた薬もやめました。

今年8月5日、マンミン夏のキャンプの教育時間に、イ・ジェロク先生がいやしの祈りをしてくださいました。その時、不思議なことに喉がすっきりして、上あごがかゆくなくなりました。アレルギー性喉頭炎と鼻炎が完全になくなったのです。ハレルヤ！



主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会
〒706-0002 岡山県玉野市築港1丁目7-26
T) 0867-72-7276

・イエス・キリスト銚田万民教会
〒311-2102 茨城県銚田市台濁沢1080-6
T) 0291-39-9177

・イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト沼津万民教会
〒410-0802 静岡県沼津市土土町6第一ビル2F
T) 055-952-6861

・イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472